

三重県立久居農林高校自転車競技部に オリジナルヘルメットを贈呈

～交通事故防止・ヘルメット着用義務化に向けて～

日本損害保険協会三重損保会（会長：穴山 将広 損害保険ジャパン株式会社 三重支店長）では、三重県警察本部の協力のもと、三重県立久居農林高校自転車競技部に自転車ヘルメットを贈呈し、12月23日（金）に、同校で贈呈式が開催されました。

本取組みは、三重県警察本部が県内に在学する高校生にセーフティ・バイシクルリーダーを委嘱し、模範的な自転車運転等を通じて自転車交通秩序の実現を図る活動をしている中、三重損保会としてもその活動や交通事故防止に貢献したいと考え、同会からセーフティ・バイシクルリーダーの活動用オリジナルヘルメットを贈呈したものです。

当日は、三重県警本部の西久保交通部長から「死亡事故の半数が歩行者や自転車であり、ヘルメットは事故での死亡や重いけがを防ぐ重要なアイテムなので、ルール順守に向けて活動してほしい」という挨拶と委嘱状の交付の後、穴山損保会長からヘルメットの贈呈がありました。

当支部では、今後も三重県警察ほか関係機関と連携し、交通事故防止活動を行ってまいります。



<ヘルメット贈呈の様子>



<穴山損保会長（後列最左）、西久保交通部長（後列最右）、久居農林高校のみなさん>